

平成20年9月定例会 一般質問一覧表

質問 順位	通 告 者	項 目 及 び 要 旨
1	安 原 幹 人	<p>1 高梁学園への支援と連携について</p> <p>(1) 順正短期大学、順正高等看護専門学校の存続をさせるために 有効なカンフル剤として数年間だけでも一人当たり授業料の半額を支援してはどうか</p> <p>(2) 吉備国際大学へ総合スポーツ学部を 人気の高いスポーツ系の学科を統合し、総合スポーツ学部を設置してはどうか。また、市としても支援ができるかどうか</p> <p>(3) 高梁スポーツセンター構想について 市の運営によりスポーツセンターを創設し、スポーツの振興、交流人口拡大により定住策に結びつけるとともに、大学等運動部強化による学生増につなげていけるのではないかと</p> <p>(4) 高梁城南高校川上校地を利用して国際環境経営学部食農経営コースを 大学の学生確保、市としては定住、農業の振興につながっていくよう閉校後の高梁城南高校川上校地を利用した食農コースの設置を市、JA、商工会議所と学園の連携で考えていってどうか</p> <p>(5) 増加する留学生に対しての奨学金、宿舎への支援を 留学生奨学金の対象者の拡大、金額アップと宿舎支援についての市長の考えを聞く</p> <p>(6) 高梁学園文化都市づくり学生宿舎整備促進助成金等交付要綱の継続を 市として民間へ宿舎建設を勧誘した経過から、学生数の減少により生じている空き部屋への支援、対策がいるのではないかと</p>
2	川 上 修 一	<p>1 合併後の調整について</p> <p>(1) 規則等の見直しが必要と思うが</p> <p>2 財源の確保が急がれるのでは</p> <p>(1) 財産処分をする必要があるのでは</p> <p>3 農作物への猿害について</p> <p>(1) 市としてどのような対応をとるのか</p>

質問 順位	通 告 者	項 目 及 び 要 旨
3	柳 井 正 昭	<p>1 市税等の滞納と不納欠損に対する徴収事務について</p> <p>(1) 市税や税外収入金等の滞納の額と不納欠損の理由、それに対する徴収事務の状況について</p>
4	宮 田 公 人	<p>1 人口減少と今後の政策の方向性について</p> <p>(1) 今後急速に人口減少が進むであろう本市においては、人口流出への歯止めと定住の促進、また、将来を見据えながら、巨額の財政出動を要する政策、事業の優先順位付けと内容の精査が重要と考えるが、市長の政策手法を問う</p> <p>2 重要施策に対する事務手続きと意志決定の方法について</p> <p>(1) 新庁舎、図書館、ケーブルテレビなど重要施策の進行状況の説明を求める</p> <p>(2) 特に市立病院については、意志決定、事務手続きについて、市民に対する説明責任及びコンセンサスが十分に図られていないと考える。基本的に重要施策に対する事務手続きと意志決定の方法に問題があるのではないか</p> <p>(3) 全員協議会での質問事項を改めて問う</p> <p>① 新型老健とは何か</p> <p>② 今回の積算は誰が行ったのか</p> <p>③ 一般病床 46 床、新型老健 46 床での運営を想定したとき、現場の医師はどのような考えを持っているのか</p> <p>④ 今後、現在の病床割りに変更を生じる可能性があるのか</p> <p>3 教育機関の適正配置について</p> <p>(1) 市内の中学校について今後生徒数の減少が進んでいくが、中学校の立地についてどのような調査、計画を持っているのか</p> <p>(2) 老朽化の著しい川上中学校についてどのような対策を考えているのか</p> <p>(3) 成羽中学校は市民の有事の際の避難場所であるにもかかわらず大型バスさえ進入できない状況にある。こうした進入路の問題をどのように考えているのか</p> <p>(4) 高山小学校の利用方法について対応策を検討したのか</p> <p>(5) 危険校舎である吹屋小学校の安全対策についてどのような検討をしたのか</p> <p>4 岡山県の財政危機と本市との関係について</p> <p>(1) 岡山県の財政危機が本市に及ぼす影響についてどのような分析をしているのか</p>

質問 順位	通 告 者	項 目 及 び 要 旨
5	三 谷 實	1 合併新高梁市の4年経過から秋岡市政の政治姿勢を問う (1) 合併の効果と一体化について (2) 成羽病院改築問題について (3) 情報化事業の進捗状況と今後の計画について
6	小 林 重 樹	1 成羽病院改築について (1) 先日、全員協議会において提出された成羽病院改築に係る概算事業費及び経営シミュレーションについて問う 2 宇治・松山高等学校の移転問題について (1) この問題については、まだ議会でも賛否両論がある課題であり、さらに議論が必要と考えるが、執行部の見解を問う
7	植 田 二 郎	1 指定管理者制度について (1) 指定管理者制度導入の根拠と理念について (2) 高梁市における導入の実態と問題点について 2 地場産業の活性化対策について (1) 各産業に対する具体的支援策についてどう考えているのか (2) 高梁市は農業を基幹産業と位置付けているが、それに匹敵するだけの施策が求められているのではないのか
8	田 中 広 二	1 備中高梁駅の橋上化とバリアフリーの計画を問う (1) 交通バリアフリー法に基づく改良事業の対象か否か (2) 橋上駅構想とバリアフリー化の関連を問う 2 精神障害者の実状を問う (1) 精神性疾患の認識と行政の対応について (2) 精神障害者の就労実態を問う (3) 精神障害者の認知と理解に向けた取り組みと啓発について 3 高齢化と成羽病院の役割について (1) 新型老健施設の方向性について (2) 独居老人の支援対策について 4 成羽町振興公社の解散について (1) 出捐金の扱いについて 5 子育て支援について (1) 認定こども園の展望を問う

質問 順位	通 告 者	項 目 及 び 要 旨
9	妹 尾 直 言	<p>1 成羽病院改築について</p> <p>(1) 地域医療の拠点病院としての内容が本当に検討されているのか</p> <p>(2) 建築費のことだけがなぜ先行するのか</p> <p>(3) 何を根拠に 29 億 1,000 万円の事業費が 21 億 4,000 万円になるのか</p> <p>2 行政運営のあり方について</p> <p>(1) 成羽地域局の窓口業務だけが午後 7 時まで行われているのか</p> <p>(2) 市長は新高梁市の一体化の醸成をどのように考え、進められてきたのか</p>
10	田 島 肇	<p>1 教育委員会及び社会福祉事務所の配置について</p> <p>(1) 行財政改革が推進されている中、早急に事務所を本庁へ集中し、経費節減と行政機能を充実すること</p> <p>2 有害鳥獣被害防止対策について</p> <p>(1) 高梁市は守る立場にある猿と、一方農作物に被害を及ぼす野猿の二面がある 生息する地域を明確にし、増え続ける野猿の駆除対策を強化すべきではないか</p> <p>3 非常勤及び臨時職員の通勤手当について</p> <p>(1) 行財政改革を進める中、正規職員の減少に伴い非常勤・臨時職員の果たす役割は今後大きくなると予測される人材確保の観点からも優遇措置が必要ではないか</p>
11	三 上 孝 子	<p>1 暮らしの問題について</p> <p>次の各緊急課題について</p> <p>(1) 後期高齢者医療制度の廃止を求める</p> <p>(2) 油・食品など生活必需品の値上げへの対応を(市民及び教育・福祉の現場の影響への対応)</p> <p>(3) 税・保険料等の負担増、不公平税制の是正</p> <p>(4) 派遣労働規制と最低賃金の引き上げ</p> <p>(5) 今こそ、経済政策の軸足を「家計応援に」</p> <p>① 秋岡市長の見解を示すこと</p> <p>② 市民の暮らしと福祉を守る立場で、高梁市独自の対応を具体的に示すこと</p> <p>③ 政府に対して緊急要請を行うこと</p>

質問 順位	通 告 者	項 目 及 び 要 旨
11	三 上 孝 子	<p>2 雇用促進住宅の売却、廃止問題について</p> <p>(1) 2007年6月の閣議決定に基づいて、雇用・能力開発機構は、雇用促進住宅の売却、廃止をすすめようとしている</p> <p>① このことについての市長の見解を問う</p> <p>② 機構からの高梁市への説明や住宅買取などの打診についての経過報告を</p> <p>③ 一方的に行われた住宅廃止計画決定と、それに基づく退去を促すことは、入居者の生存権・居住権を侵害するもの入居されている市民の実態を踏まえ、廃止計画の白紙撤回と、入居者の退去を強要することがないよう関係機関へ緊急要請すること</p> <p>3 宇治・松山高校を現在地で存続すること</p> <p>(1) 宇治高校は、宇治小学校校舎に併設し、共同使用して、宇治に存続することを求める</p> <p>(2) 松山高校の成羽移転は夜間高校としての目的、機能をあまりにも無視し、高校そのものの存続を危うくするもの現在地での存続を求める</p> <p>4 学童保育の問題について</p> <p>(1) 学童保育に必要な施設と設備整備は、市が責任をもって行うこと</p> <p>(2) 待機児童を解消するための緊急対策を求める</p>
12	井 上 英 男	<p>1 この4年間を振り返って、評価と今後の課題について問う</p> <p>(1) 4年間の総括について</p> <p>(2) 総合計画と重点課題の対応について</p> <p>2 保健、医療、福祉、少子・高齢者対策について</p> <p>(1) 後期高齢者医療制度について</p> <p>(2) 今後の在宅ケア対策、福祉施設対策について</p> <p>(3) 「認定こども園」の方向づけは</p> <p>3 市営住宅の在り方について</p> <p>(1) 建設計画の概要</p> <p>(2) 旧市営住宅の整理と土地管理について</p> <p>4 生活環境問題について</p> <p>(1) 上水道、簡易水道の対策について</p> <p>(2) 猪、猿の被害対策について</p>

質問 順位	通 告 者	項 目 及 び 要 旨
13	山 縣 喜 義	<p>1 成羽病院改築について</p> <p>(1) 成羽病院改革プラン検討委員会と議会の成羽病院改築調査特別委員会との整合性について</p> <p>(2) 事業の変更により位置の見直しも必要ではないか</p> <p>(3) 事業費の財源構成について</p>
14	川 上 博 司	<p>1 行財政改革について</p> <p>(1) 県の財政危機宣言を受けての本市の対応はどのようになっているのか</p> <p>2 介護従事者の待遇改善について</p> <p>(1) 介護労働の専門性を正當に評価し、生活設計が可能な給与を保障できる介護報酬を来年4月の改定時に引き上げるよう国へ要望していくこと</p> <p>3 啓発ボランティアの養成について</p> <p>(1) 悪徳商法の被害を防ぐため、高齢者らを守る啓発ボランティアの養成に取り組むこと (栃木県鹿沼市の取り組みを参照)</p>